

遠野まごころネット：個人参加ボランティア(体育館組?日帰りも) ニュース

2011.5.14(土)

よりそう



第18号

(5/14(土)の宿泊:131人,活動:203人)

編集責任:水野

本日の編集担当 小泉 辻 南 水野

ガレキを集めて 次へリレー

5/14(土)に参加した陸前高田市津崎町の作業は、田んぼや宅地のガレキを集めて電機で搬入しやいふところにあるというもので、現場は「家屋崩壊の危険は無いものの、ハドの上の木材や生垣、草や衣服や原器、作庭の壁や塀も壊れ、泥と化学薬品と海の臭いがする」といふため、マスクやゴーグルは必須、ぬいかに足をとら小まめに作業し、鉄板敷き入り長ぐつ、厚手厚底靴、手袋は「大げさすぎる?」と、ほんとこい子ありませんでした。(木村のり子が来てくれて、手は足腰が疲れた。ガレキ集積場の近くに作業をしましたが、古い敷地に散らばったガレキが大変な山に、約75kgのバケを運搬した。片付けに家の前からも感謝の手紙を、遠野に愛と感謝の言葉を、下の方に、お礼の言葉が、途中のバスマンの編集作業までお誘いして、ほんとに皆、ありがとうございました。また来よう! (南)

親子で参加

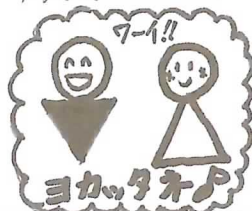


長野から

楽しかったけど疲れた!と話しはじめた宮崎真生くん(小2)。長野県安曇野市から13~15日の日程で参加。機木町の民家を、雨戸・子ミ戸・ガラス戸そしてアヒカシを掃除した。面白かったのは溝をブラシで洗うことだったが疲れたよと日記を見せてくれた。実は主人が一週間程女川町で活動していたそうだ。親しい私達親子がここへと話す母親の瑞穂さん。昼食時に家主さんの話を聞いた。津波が渦を巻きながら家屋や隣人を次々と呑み込んでいった自然の力には全くの無抵抗だった。

子供の喜び顔が見たい

陸前高田市の二つの小学校避難所の簡易トイレでは小学生は足が届かないと便器に届かないらしい。そこでこれを子供でも使い易くするために、当センターの仮設トイレと同じ物に替えるというものです。トイレに水をいれパキュームカーで吸い取る作業をするので5ヶ所もありトイレが周く、ふやかす為、1ヶ所5回も水をいれなければならないそうです。風が強くと水をいれても手前に飛ぶ散り大急心した。最後には石炭を振り、来週月曜日には撤去、見守り、子供の喜び顔にになります。



まごころネットに寄贈

1. フッポンシート 120枚

5/11~14ボランティア参加の土谷修平さん(プロボクサー)が所属する前海岸望石ボクシングジムのお金木会長さんから、また朝晩は寒い遠野ありがとうございました。

2. 電気オレンジ 1台

大阪のOさんからです。

皆さん感謝して大事に使いましょう。



5/15(日) 天気:晴時々曇り 気温:9~15℃ 降水確率:10%